

岩崎憲郎町長
 超高齢化が進み、全国17番以内に入る状況であるが、そうした状況の中にあっても、地域のコミュニティがしっかりと息つき、それに支えられた住民の皆さんの



重森一宗議員
 今回、町長選挙において町民に思いを訴えられたが、住民から何らかの負託を感じたのか、また、これからの決意を聞く。

問 4期目の決意は 答 次の世代に伝えていく

浜田市の場合は、この期日前投票所開設で特に投票率のアップは見られなかったが、地域の高齢者等については大変喜ばれたというふうにいわれている。高齢化が進む山

間僻地の喫緊の課題でもあり、一市町村でなく全国レベルで考え取り組むべき問題であることから、国にも働きかけ、問題解決に向けて努力したいと思っている。

生活の営み、生産の営みがある。その生産の営みについても、産業的な視点で見ただけでなく、地域という見方をすると、非常に元氣な営みがある

ということを感じた。これを守り、次の世代に伝えていく。そのために何が必要かということを考え、行動していかなければならない。そのことが議会でも議論になった林業の問題、農業の問題、子育て・教育の問題、福祉・医療・介護等の問題でもある。今回の選挙戦の中で得たものをしっかりと行政のサービスとして届けるため「住民の皆さんと一緒に歩む」基本的な姿勢のもと、全力で取り組み行動で表していく。

議会からのお知らせ



小笠原妙子 議員



上池 如夫 議員

■11月6日就任

11月1日告示の大豊町議会議員補欠選挙に当選され、任期は11月6日から平成31年3月5日まで。
 両名ともに、教育民生常任委員会委員、国道439号改良促進調査特別委員会委員、再生可能エネルギー対策調査特別委員会委員に選任された。

■大豊町中学校3年生による模擬議会を開催

1月19日大豊町中3年生14人による模擬議会が開催された。この模擬議会には傍聴の中学2年生14人、保護者、現職議員等が参加のもと町の未来について共に考え学んだ一日であった。

なごやかな雰囲気で開催した模擬議会も、産業振興、過疎化・高齢者対策など政策的なものから、地域生活に密着したことまで幅広く、中学生議員により代表質問が行われ、岩崎憲郎町長も、本議会さながらの答弁となった。これを機会に、地域に対する関心を高め、地域の一員として本町を担う活躍を期待するものである。



大豊町中学3年生による模擬議会



再造林、ネット事業

重森一宗議員

町内で杉苗木を生産しており、出荷待ち2千本・来春出荷予定1万本・来夏以降出荷予定1万本と聞いているが、この苗は、町内の再造林にも使用すべきではないか。また、町内の集落周辺と、杉・松の植林に適さない所には、どのような植栽を考えているのかを聞く。

岩崎憲郎町長

杉苗については、森林組合等と相談をしており、町内の山林で使用すべく取り組む。植栽については、山の状況によると思うが、伐採後、広葉樹の林になっていく場合もある。雑木を植えて利用する考えになれば、シイタケの原木などの植栽も考えていかなければならないと思っている。



西峰地域での杉苗の生産

重森一宗議員

町長は、「自伐林家のサポートをする」と言われているが、どのような構想を持っているのかを聞く。

岩崎憲郎町長

現時点では、チップ工場へのパルプ材の搬入に、トン当たり1500

円の商工会の商品券を上乗せ支給、林業機械のレンタルに対しての補助金等を行っている。

一般質問

問 投票率の底上げを 答 努力していく

重森一宗議員

先般の選挙での投票率と、他町村で行っている移動投票所の事例について、選挙管理委員長に聞く。



石川靖朗
 選挙管理委員長

11月6日に行われた大豊町議会議員の補欠選挙

の投票率は、64・72%、11月27日に行われた大豊町長選挙については、73・77%という結果であった。先の議会でも、島根県浜田市における車による巡回と移動投票所の事例を紹介し、その折、選挙管理委員会においても、延べ3時間余り検討したが、すぐの実施は非常に困難である結論になった。その後、他の市町村の動向などを注視してきた。



期日前投票所